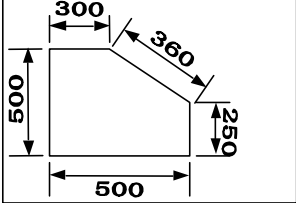
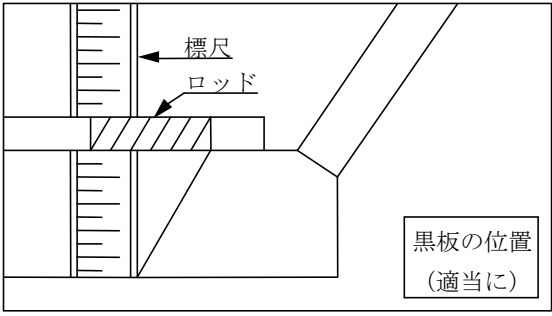


### 第3項 撮影記録による出来形管理

工 種		撮 影 基 準	撮 影 箇 所
1 共 通 工 事	1. 一 般	<p>1. 工事着手前及び完成後の全景（できるだけ同一位置から撮影する）。</p> <p>2. 施工状況、施工法について適宜撮影する。</p> <p>3. 仮設関係について適宜撮影する。</p> <p>4. 被災のおそれがあるときはその都度出来高を撮影する。</p> <p>5. 品質管理実施状況について適宜撮影する。</p> <p>6. 工場製作状況について適宜撮影する。</p> <p>7. 基礎工等で埋設される部分、完成後明視できない部分などについては、特に留意して撮影する。 なお、明視できる部分については、この基準によらなくてもよい。</p> <p>8. その他必要に応じて適宜撮影する。（進捗管理のための遠景撮影など）</p>	
	2. 掘 削	<p>施工延長おおむね 50～100mにつき 1箇所割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。</p>	<p>掘削幅、掘削深さ、法長、法勾配、排水側溝、その他必要箇所を撮影する。</p>
	3. 盛 土	<p>上記と同一。</p>	<p>盛土幅、まき出し厚さ、転圧、法長、法面(芝)、法勾配、排水側溝、その他必要箇所を撮影する。</p>
	4. 石 積 み (張) ブロック 積 み (張)	<p>施工延長おおむね 40～80mにつき 1箇所割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。</p>	<p>床掘、基礎関係、裏込、その他必要箇所を撮影する。</p>
	5. 基 礎 杭 打 工 矢 板 打 工	<p>矢板打設は上記と同一。 基礎杭は 20 本に 1 箇所割合で撮影する。</p>	<p>杭及び矢板の偏心量、リバウンド量、その他必要箇所を撮影する。</p>
	6. オープンケーソン	<p>構造図の寸法標示箇所を 1 ロット毎に撮影する。</p>	<p>幅、高さ、長さ、配筋、その他必要箇所を撮影する。</p>
	8. 栗石基礎、碎石基礎、砂基礎、均しコンクリート	<p>施工延長おおむね 50～100mにつき 1 箇所割合で撮影する。 上記未満は 2 箇所撮影する。</p>	<p>幅、厚さ、転圧、粒径、その他必要箇所を撮影する。</p>

撮 影 方 法	管 理 方 法
<p>1. 撮影箇所の確認、寸法の判定ができるよう工夫する。</p> <p>2. 撮影箇所には次の事項を記入した黒板を用意し、整理説明の便となるよう工夫する。</p> <p>(1) 工 事 名  (2) 工種及び種別  (3) 作業内容  (4) 測 点  (5) 設計数量・寸法  (6) 実測数量・寸法  (7) 略 図</p> <p>3. デジタル写真はカラー撮影とし、写真ファイルの記録形式は JPEG とし、有効画素数は、黒板の文字が確認できることを指標（100 万画素程度）とする。</p> <p style="text-align: center;">黒板記入例</p> <div data-bbox="274 947 612 1375" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">〇〇〇〇工事</p> <hr/> <p style="text-align: center;">(種別) 法枠基礎</p> <hr/> <p style="text-align: center;">(測定点) No. 195+8.0</p> <hr/>  </div> <p style="text-align: center;">写 真 例 (基礎の高さ)</p> <div data-bbox="177 1516 769 1863" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">  </div>	<p>1. 写真は施工の時期、工種、施工の順序が判定できるように電子データにて整理・保管する。</p> <p>2. 完成検査及び既済部分検査の際は電子データを検査職員に提示し、寸法出来形管理と併せて確認の資料とする。</p> <p>3. 工事写真は電子化写真データ作成要領（案）に基づき作成する。</p>

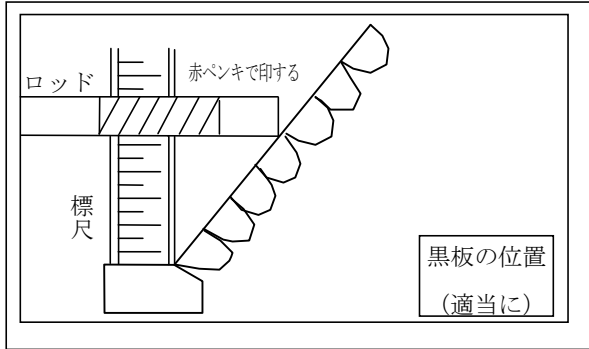
工 種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所	
1 共 通 工 事	9.コンクリート付帯構造物 コンクリート基礎、側溝、管渠、横断構造物、RC橋、コンクリート擁壁、その他上記に準ずるもの	線的な構造物については施工延長おおむね 40～80mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。 箇所単位の構造物については適宜撮影する。	床掘、基礎、幅、厚さ、配筋、高さ、その他必要箇所を撮影する。
	10. 精度を要するもの、分土工計量部、ゲート戸当部、橋台沓部	構造図の寸法標示箇所を撮影する。	幅、厚さ、高さ、配筋、その他必要箇所を撮影する。
	11. U 字 溝 U字フリューム ベンチフリューム	施工延長おおむね 50～100mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。	施工状況、その他必要箇所を撮影する。
	12. 土 水 路	施工延長おおむね 200～400mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。 施工延長を示さない場合は、1～2工区につき1箇所の割合で撮影する。	幅、厚さ、高さ、法勾配、その他必要箇所を撮影する。
	13. 鉄 筋 組 立	1 スパン（1 打設ブロック）ごとに撮影する。	かぶり、中心間隔、その他必要箇所を撮影する。
2 ほ 場 整 備 工 事	1. 表 土 扱 い	おおむね 10 a 当たり 1 箇所の割合で撮影する。	表土厚を撮影する。
	2. 基 盤 造 成 表 土 整 地	上記と同一。	基盤面、表土埋戻後を撮影する。
	3. 畦 畔 復 旧	施工延長おおむね 200～400mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。	幅、高さ、その他必要箇所を撮影する。
	4. 道 路 工 ( 砂 利 道 )	幹線道路は 50～100mにつき1箇所の割合で、支線道路は 200～400mにつき1箇所の割合で撮影する。	まき出し厚さ、転圧、厚さ、幅、その他必要箇所を撮影する。

撮 影 方 法

管 理 方 法

4. 基礎等が土砂又は水面に埋設する場合、法長の測量点を赤ペンキ等で印をする。  
印の位置はなるべく1mとか2mのように整数値とする。

写 真 例



工 種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所	
3 農 用 地 造 成 工 事	1.耕 起 深 耕	おおむね1 ha 当たり2～3箇所撮影するほか、つぼ掘りは2 ha 当たり1箇所の割合で撮影する。	耕起深、つぼ掘りを撮影する。
	2.テ ラ ス (階 段 畑)	テラス延長 100～200mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。	幅、耕起幅、法勾配、その他必要箇所を撮影する。
	3.道 路 工 (耕 作 道)	施工延長おおむね 100～200mにつき1箇所の割合で撮影する。	幅、厚さ、法勾配、側溝幅を撮影する。
	4.土 壌 改 良	おおむね2 ha 当たり1箇所の割合で撮影する。	サンプル採取中及び試験中の箇所、その他必要箇所を撮影する。
	5.改 良 山 成	測定点2～3箇所につき1箇所の割合で撮影する。	基準高、法勾配、その他必要箇所を撮影する。
4 農 道 工 事	1.路 盤 工	施工延長おおむね 50～100mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。	幅、まき出し厚さ、転圧、その他必要箇所を撮影する。
	2.コンクリート 舗 装 工 アスファルト 舗 装 工	上記と同一。	幅、厚さ、その他必要箇所を撮影する。
	3.砂 利 舗 装 工	上記と同一。	幅、まき出し厚さ、転圧、その他必要箇所を撮影する。
	4.道 路 ト ン ネル	巻厚については1スパンにつき1箇所の割合で撮影する。 その他掘削タイプの変化する毎に1箇所の割合で撮影する。	巻厚、型枠、切羽、支保工、矢板、坑口、その他必要箇所を撮影する。
	5.道 路 ト ン ネル (NATM)	掘削はタイプの変化する毎に1箇所、ロックボルトは100mに1箇所、コンクリート吹付は50mに1箇所、巻厚については1スパンにつき1箇所の割合で撮影する。	巻厚、型枠、切羽、支保工、ロックボルト、コンクリート吹付、坑口、その他必要箇所を撮影する。

撮 影 方 法	管 理 方 法

工 種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所
5 水路トンネル工事	1. 水路トンネル 巻厚については1スパンにつき1箇所 の割合で撮影する。 その他は掘削タイプの変化する毎に 1箇所の割合で撮影する。	巻厚、型枠、切羽、支保工、矢板、 坑口、その他必要箇所を撮影する。
6 水路 工 事	1. 現場打開水路	おおむね2スパンにつき1箇所の割 合で撮影する。
	2. 現場打サイホン	上記と同一。
	3. 現場打暗渠	上記と同一。
	4. 鉄筋コンクリ ート大型フリー ム、 鉄筋コンクリ ートL形水路	施工延長おおむね 50～100mにつ き1箇所の割合で撮影する。 <b>上記未满是2箇所撮影する。</b>
	5. ボックスカル バート水路	上記と同一。
7 河 川 及 び 排 水 路 工 事	1. コンクリート 法 覆 工 アスファルト 法 覆 工	幅、厚さ、法長、法勾配、その他 必要箇所を撮影する。
	2. コンクリートブ ロック積み水路、 鉄筋コンクリ ート柵渠	上記と同一。
	3. ライニング水路、 連節ブロック張 り、コンクリート マット	上記と同一。



撮 影 方 法	管 理 方 法

工 種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所	
8 管 水 路 工 事	1. 管 体 基 礎 工 〔 砂 基 礎 及 び 埋 戻 等 〕	施工延長おおむね 50～100mにつき 1 箇所の割合で撮影する。 上記未満は 2 箇所撮影する。	基礎、埋戻等の厚さ、幅、まき出 し、締固め状況等を撮影する。
	2. 管 水 路 〔 遠 心 力 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 管 〕	上記と同一。	管布設状況、外観検査、ジョイン ト関係、その他必要箇所を撮影す る。
	3. 管 水 路 〔 強 化 プ ラ ス チ ダ ッ ク 複 合 管、ダ ク タ イ ル 鋳 鉄 管 〕	上記と同一。	上記と同一。
	4. 管 水 路 ( 硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管 )	上記と同一。	上記と同一。
	5. 管 水 路 ( 鋼 管 )	上記と同一。	芯出し据付け状況、溶接作業、清 掃状況、塗装、非破壊検査、ピン ホール検査、膜厚検査、その他必 要箇所を撮影する。
	6. 管 水 路 ( 埋 設 と う 性 管 ) た わ み 率	たわみ量測定箇所 2 箇所につき 1 箇所 の割合で撮影する。 ただし、測定箇所が 2 箇所のみの場合 は 2 箇所とも撮影する。	マーキング関係、Dh 及び Dv 寸 法、その他必要な箇所について撮 影する。
	7. シールド工事 ( 一 次 覆 工 )	施工延長おおむね 50～100mにつ き 1 箇所の割合で撮影する。 上記未満は 2 箇所撮影する。 たわみ率測定箇所 2 箇所につき 1 箇所 の割合で撮影する。 ただし、測定箇所が 2 箇所の場合 は 2 箇所とも撮影する。	セグメント設置状況、外観検査、 Dh 及び Dv 寸法、その他必要箇 所を撮影する。
	8. シールド工事 ( 二 次 覆 工 )	上記と同一。	管布設状況、外観検査、ジョイン ト関係、Dh 及び Dv 寸法、その 他必要箇所を撮影する。
	9. 推 進 工 事	上記と同一。	上記と同一。

撮 影 方 法	管 理 方 法
<p>膜厚検査で塗膜厚の確認が困難な場合は、使用済塗料空カン等の撮影を行う。</p>	
<p>D<sub>h</sub>及びD<sub>v</sub>寸法の測定状況のほか、スケール目盛を撮影する。</p>	
<p>上記と同一。</p>	
<p>上記と同一。</p>	
<p>上記と同一。</p>	

工 種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所	
9 畑 かん 施設 工事	1. スプリンクラー	1ha 当たり 1～2 箇所の割合で撮影する。	埋設深を撮影する。
10 橋 梁 工 事	1. コンクリート桁 (ポストテンション桁)	構造図の寸法標示箇所を桁毎に撮影する。	P C 鋼線配置状況、幅、高さ、その他必要箇所を撮影する。
	2. 鉄筋コンクリート床版工	幅については 1 スパンにつき 1 箇所の割合で撮影する。 厚さについては施工面積おおむね 30～60 m <sup>2</sup> につき 1 箇所の割合で撮影する。 上記未満は 2 箇所撮影する。	配筋、幅、厚さ、その他必要箇所を撮影する。
	3. 鉄筋コンクリート高欄及び地覆工	幅については 1 スパンにつき 1 箇所の割合で撮影する。 厚さについては施工面積おおむね 30～60 m <sup>2</sup> につき 1 箇所の割合で撮影する。 上記未満は 2 箇所撮影する。	配筋、幅、厚さ、その他必要箇所を撮影する。
11 橋 梁 下 部 工 事	1. 橋 台 工	構造図の寸法標示箇所を 1 基毎に撮影する。	基礎関係、配筋、天端長、敷長、敷幅、高さ、控壁の厚さ、その他必要箇所を撮影する。 なお、橋台沓部については「1 共通工事の 100 精度を要するもの」の項に定めるところによる。
	2. 橋 脚 工 張 出 式 重 力 式 半 重 力 式	上記と同一。	基礎関係、配筋、天端長、敷長、天端幅、敷幅、高さ、その他必要箇所を撮影する。
	3. 橋 脚 工 ラ ー メ ン 式	上記と同一。	基礎関係、配筋、天端長、天端幅、中間幅、基礎幅、高さ、厚さ、その他必要箇所を撮影する。

撮 影 方 法	管 理 方 法

工 種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所
12 法 面 保 護 工 事	1. 法面保護工  客土吹付、植生基材吹付工は、施工面積おおむね200～400㎡につき1箇所、その他は1,000㎡につき1箇所の割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。	法面状況、法面清掃、厚さ、金網、植生ネット張、むしろ張、アンカー打込み等必要箇所を撮影する。
13 暗 渠 排 水 工 事	1. 吸 水 渠  1 耕区当たり1～2箇所の割合で撮影する。	埋設深、埋設間隔、その他必要箇所を撮影する。
	2. 集 水 渠 (支 線) 導 水 渠 (幹 線)  施工延長おおむね50～100mにつき1箇所の割合で撮影する。	埋設深、その他必要箇所を撮影する。
14 フ ィ ル ダ ム 工 事	1. 監 査 廊  1 スパンにつき1箇所の割合で撮影する。	幅、厚さ、高さ、配筋、打継目、その他必要箇所を撮影する。
	2. 堤 体 盛 土  盛立高さおおむね3～5mにつき1箇所の割合で各ゾーン毎に撮影する。 ストックパイルは造成の都度1箇所撮影する。	ゾーン幅、まき出し厚さ、転圧、レーキング、コンタクトクレー、リップラップ工、ストックパイル工、その他必要箇所を撮影する。
	3. 洪 水 吐  2 スパンにつき1箇所の割合で撮影する。	幅、厚さ、高さ、配筋、打継目、その他必要箇所を撮影する。
	4. 埋 設 計 器  各計器毎に撮影する。	埋設状況、埋設時のゲージの状態等について撮影する。
	5. グラウトボーリング  ボーリングの削孔長を全数撮影する。	削孔長は全数、その他必要箇所を撮影する。

撮 影 方 法	管 理 方 法
<p>撮影時期、撮影内容及び撮影方法については別途特別仕様書による。</p>	

工 種		撮 影 基 準	撮 影 箇 所
15 頭 首 工 工 事	1. 本 体	構造図の寸法標示箇所を撮影する。	幅、厚さ、高さ、長さ、配筋、その他必要箇所を撮影する。
	2. 護床ブロック (異形ブロック)	施工面積おおむね 200 m <sup>2</sup> につき 1 箇所の割合で撮影する。 上記未満は 2 箇所撮影する。	基礎地盤状況、据付け状況、その他必要箇所を撮影する。
16 海 岸 河 川 工 事	1. 捨 石 工 消波ブロック工	施工延長おおむね 50～100mにつき 1 箇所の割合で撮影する。	幅、高さ、その他必要箇所を撮影する。
17 た め 池 改 修 工 事	1. 堤 体 工	施工延長おおむね 20m～40mにつき 1 箇所の割合で撮影する。	盛土幅員、まき出し厚さ、転圧、法長、法面(芝)、法勾配、排水側溝その他必要箇所を撮影する。
	2. 洪水吐工	おおむね 2 スパンにつき 1 箇所の割合で撮影する。 箇所単位の構造物については適宜撮影する。	床掘、基礎、幅、高さ、配筋、打継目、パイプ布設、外観検査、ジョイント関係、その他必要箇所を撮影する。
	3. 樋管工 同上付帯構造物 (土砂吐ゲート等)	施工延長おおむね 10mにつき 1 箇所の割合で撮影する。 箇所単位の構造物については適宜撮影する。	床掘、基礎、幅、高さ、厚さ、配筋、打継目、その他必要箇所を撮影する。



撮 影 方 法	管 理 方 法